

(様式3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい館はもち

作成日: 令和 5 年 6 月 7 日

| 【目標達成計画】 |      |   |  |  |            |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 34   | 利用者の急変時や事故発生時に備えて、訓練を受け、全ての職員が実践力を身につける必要がある。   | 全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を受け、利用者の急変や事故発生時に慌てず適切に対応できるようになる。 | 消防署に普通救命講習の申込みをして、AEDの使用法を含めた心肺蘇生法の講習を受ける。マニュアルの内容を再度確認し、フローチャートを分かりやすく作成し、全職員が不安なく業務に当たれるようシミュレーションを行う。                     | 6ヶ月        |
| 2        | 35   | 災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を構築していく必要がある。また分散されている備蓄品のリストを整備し、有事の際に全職員が対応できるようにする必要がある。 | 地域との連携を構築する。有事の際に全職員が慌てず対応できるようになる。                  | 防災委員会を中心に、火災、地震、風水害を想定したマニュアルの見直し及び津波を想定してのマニュアルの作成を整備し、全職員に周知する。地域の防災会議等に参加し、避難ルートなどの確認や協力体制の確認を行う。備蓄品のリストを整備する。            | 6ヶ月        |
| 3        | 1    | 現状は法人理念を事業所理念としているが、今後は法人理念を基本としながら、利用者・家族・職員・地域住民がよりわかりやすい独自の事業所理念の作成に向けての検討が期待される。                    | よりわかりやすい事業所理念をつくり、全職員がその理念を共有して実践につなげる。              | 業務改善委員会を中心に事業所独自の理念を作成し全職員で話し合う。職員一人ひとりが、事業所の理念を理解し、意識しながら業務に取り組めるよう、事業所内の利用者の目に入る場所に掲示して目標共有を図る。                            | 12ヶ月       |
| 4        | 2    | 利用者が地域とつながりながら暮らし続けるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流していく必要がある。   | 事業所と地域の人々がお互いに支え合う関係を構築する。                           | 広報・ボランティア委員会を中心に地域の行事等について情報収集を行い、積極的に参加していく。施設の存在や特性などについて更に理解を深めてもらうように広報誌の作成、閲覧方法について工夫する。コロナ情勢を確認しながら園児や学生の慰問などの依頼をしていく。 | 12ヶ月       |
| 5        |      |   |  |  | ヶ月         |